

# 企 画 提 案 指 示 書

## 1 業務名

令和4年度(2022年度)「木育・木質空間普及啓発資材(森でつながる)」作成委託業務

## 2 業務の目的

森林や木材を利用した木育活動を企業活動に取り入れる企業の新規参入を促すため、木育活動を継続的に実践している企業・団体等の優良事例を紹介する普及啓発資材(冊子・動画)を作成する。

## 3 委託業務内容

木育を取り入れた新しい企業活動のモデルとして提案するため、森林や木材利用による木育活動に継続的に取り組み、持続可能な環境・社会づくりに貢献している企業や団体の事例を紹介する普及啓発資材(冊子・動画)を作成し、関係機関に配布する。

### 【委託項目】

#### ア 木育・木質空間普及啓発冊子「森でつながる」(以下「冊子」という。)の作成

「森でつながる」をコンセプトに、企業・団体等が森林・木材利用による木育活動を企業活動に取り入れるきっかけやメリット、魅力、目指している姿などに焦点を当てて取材及び基本構成を行い、木育に馴染みのうすい企業・団体等にもわかりやすい表現を用いた上で、森林や木材利用による木育活動を取り入れた新しい企業活動のモデルを提案できる内容のものとする。

また、「森と人」をテーマにした、北海道に関わりのある著名人の対談を誌面に用いることで、企業活動への森林・木材利用の普及啓発に努めるものとする。

冊子の基本構成は、別紙に基づくものとし、ウェブサイトでも公開できる構成とする。

#### イ 木育・木質空間普及啓発動画「森でつながる」(以下「動画」という。)の作成

冊子の構成に対応したものとし、冊子作成時に行う活動内容などの取材やインタビューを撮影した動画を30分程度に編集し、DVDによる配布及び動画共有サイト(YouTube等)で発信ができ、チャプターごとに視聴できるようにする。

#### ウ 完成品の送付等

完成した冊子は道の指定する送付先に指定部数送付し、残部は北海道に納品する。

#### エ 上記業務に係る報告書の作成

上記の事業について、次のとおり実施結果報告書を取りまとめ提出する。

なお、本事業における成果品(データ)の所有権及び著作権は、道に帰属するものとし、著作権、肖像権等に関して権利者の許諾が必要な場合は、受託者において必要な権利処理を行う。

・紙媒体 A4版 2部      ・電子媒体 DVD-R等光学ディスク 2部

※データファイルは、マイクロソフトウインドウズに対応したものとする。

## 4 業務上の留意事項

業務内容の詳細は、企画提案の内容を基本とし、道と受託者が協議して決定する。

また、新型コロナウイルスの影響で、冊子や動画などの作成が困難となった場合、道と受託予定者との双方協議による合意を経て委託契約の内容を変更するものとする。

## 5 予算上限額

6,860,000円(消費税及び地方消費税相当額を含む)

## 6 委託期間

契約締結日の翌日から令和5年(2023年)1月31日(火)までとする。

## 7 参加表明書の提出

プロポーザルへの参加を希望する者は、次のとおり必要な書類を提出すること。

- (1) 提出書類 参加表明書(別紙様式)、添付資料(発行者の定める様式)
- (2) 提出部数 各1部
- (3) 提出期限 令和4年(2022年)6月13日(月)午後5時(必着)
- (4) 提出先 「11 問い合わせ及び関係書類の提出先」による
- (5) 提出方法 持参又は郵送(郵送の場合は簡易書留、書留のいずれかによること。)

## 8 企画提案書の作成及び提出

参加表明書の提出後、道から企画提案書の提出の要請を受けた者は、次のとおり必要な書類を提出すること。

- (1) 企画提案書の様式は任意とし、用紙の大きさは日本工業規格A4版(縦長)とすること。
- (2) 文章を補完するために、イラストや図表などを利用しても構わないが、社名やロゴマーク等、提案者が特定できる図柄は一切入れないこと。
- (3) 企画提案の内容については、他からの転載を禁じる。
- (4) 提案内容は、全て企画提案書に記載すること。別添となるパンフレットや補充資料、図面等は受理しないので留意すること。
- (5) 提出された企画提案書の全部又は一部について、変更、追加及び削除はできないので留意すること。
- (6) 業務遂行体制の内容
  - ア 企画提案者の基本理念及び応募動機について記載すること。
  - イ 本業務の担当者の経験及び業務ごとの人員配置・実施体制を記載すること。  
なお実施にあたり関係機関・団体と連携等する場合はその部分についても記載すること。
  - ウ 委託業務開始から終了までの実行計画を記載すること。
- (7) 業務遂行能力の内容
  - ア 過去5年間に国・地方公共団又は民間事業者との間で契約・履行した類似・関連業務の実績を簡潔に記載すること。なお、(6)で記載する関係機関・団体と連携、協業等の実績がある場合は、それも記載すること。
  - イ 企画提案者が、全道各地域とのネットワーク体制を構築している場合は、その内容を記載すること。
- (8) 企画提案の内容

次の項目について、具体的に提案してください。

  - ア 冊子「森でつながる」の作成
    - ・冊子の構成
    - ・取材内容と取材方法
    - ・木育に馴染みのうすい企業・団体に対する、木育活動参入へのPRポイント
    - ・起用する北海道に関わりのある著名人の選考理由と実現性
  - イ 動画「森でつながる」の作成
    - ・動画の構成
    - ・取材内容と取材方法
    - ・構成イメージが明るく、木育に馴染みのうすい企業・団体に対する、木育活動参入へのPRポイント
    - ・北海道に関わりのある著名人の起用と効果的な演出
  - ウ 実績報告書の作成
  - エ 企画提案に要する見積価額
- (9) 企画提案書の提出部数及び提出方法は次のとおりとする。
  - ア 提出部数 10部

それぞれ別様様式の表紙をつけること。企画提案者名は1部のみ記入し、残り9部には企画提案者名を記載しないこと。

※ 企画提案者名を記載しない9部については、表紙の企画提案者名の欄、「1 提案者の概要」の「企画提案者名」から「従業員数」までの欄及び「2 総括責任者および業務担当者」の「氏名」を空

欄にして提出すること。

※ 企画提案書はコピーが可能な用紙を使用し、丁合後、ホチキスやクロステープなどで綴じずに、ダブルクリップ等で留めること。

イ 提出期限 令和4年(2022年)6月27日(月)午後5時(必着)

ウ 提出先 「11 問い合わせ及び関係書類の提出先」による

エ 提出方法 持参又は郵送(郵送の場合は簡易書留、書留のいずれかによること。)

## 9 企画提案書に関するヒアリング

企画提案された内容は、プロポーザル審査会においてヒアリングを実施する。

- (1) 対面でのヒアリングを原則とする。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により書面でのヒアリングに変更する場合がある。
- (2) 日時、場所等については、別途通知する。
- (3) ヒアリングでは、提案者から企画提案者に記載された内容について説明後、質疑を行う。

## 10 その他

- (1) 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- (2) 企画提案書の採否は、文書で通知する。
- (3) 複数の企画提案は認めない。また、映像、音声による企画提案も認めない。
- (4) 企画提案が多数の場合は、書面による予備審査を行うことがある。
- (5) 期限までに企画提案書の提出がない場合は、「参加表明書」の提出があっても参加の意思がないものとみなす。
- (6) 提出された企画提案書についてヒアリングを実施する。日程等は後日通知する。なお、企画提案説明会に出席しない場合は、企画提案の参加意思がないものとみなす。
- (7) 審査にあたっては、企画提案書は匿名とし、別に指示する事業者名(A社、B社等)により行うものとする。
- (8) 選定された企画提案書は返却しないので留意すること。ただし、選定されなかった企画提案書は、企画提案書の提出時に返却を希望した事業者に限り返却する。
- (9) 審査結果及び特定者名は公表する。

## 11 問い合わせ及び関係書類の提出先

北海道水産林務部森林環境局森林活用課木育推進係

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-204-5515(直通)(担当:今野)

## 別紙

### 【冊子の構成】

冊子は、取組事例の取材によるインタビューや木育活動などを撮影した写真等を用いて次の構成を基本とし、A4版綴じ込み40ページ程度に編纂する。

#### ◆表紙

#### ◆発行目的の説明等

- 1 木育の概念を説明
- 2 森林空間を活用した、企業・団体等のCSR活動（社会貢献・環境貢献）や、SDGs、ゼロカーボン北海道との関わりを説明
- 3 目次

#### ◆森でつながるコンセプト

##### 1 人がつながる

森林空間での木育活動により、世代間交流や地域コミュニティの形成など、「人がつながる」ことに貢献している企業・団体等の木育活動事例を3例以上紹介

##### 2 地域がつながる

森林空間での木育活動により、地域づくりや地域振興など、「地域がつながる」ことに貢献している企業・団体等の木育活動事例を3例以上紹介

また、木育活動や森林空間利用によるグリーンワーケーションを地域づくりに取り入れている道内自治体を1例以上紹介

##### 3 次世代につながる

森林空間での木育活動により、人づくりや社会教育など、「次世代につながる」ことに貢献している企業・団体等の木育活動事例を3例以上紹介

##### 4 森をつくるということ

森の循環や持続可能な社会形成を意識して林業を行っている企業を1例以上紹介

また、全道各地で、企業・団体を中心として実施されている「植樹活動」並びに「育樹活動」を紹介し、植樹活動や育樹活動が全道一円で協働実施されていることを強調

##### 5 全国育樹祭について

「第44回全国育樹祭北海道2021」に携わった方々のインタビュー等を用いて、木育活動の継続と協働の意義を伝え、持続可能な環境・社会構築に向けた新たな提案

#### ◆森と人

「森と人」の関わりと、それを企業・団体等の活動が支える社会的意義についてPR  
北海道に関わりのある著名人の「森と人」をめぐる対談

#### ◆裏表紙

### 【作成部数】

3,000部